

第 7 期 ふじみ野福祉会 3 か年計画 事業報告

本計画の期間は平成 30 年度から令和 2 年度までの 3 年間、介護保険事業計画としては第 7 期目にあたります。第 9 期目には団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年問題も目前です。その問題の対応策である、地域包括ケアシステムを担う 1 法人として、利用者さんの状況、富士見市全体の状況を見据えながら 3 か年計画を策定しました。

第 7 期

第 8 期

第 9 期

平成 30～令和 2 年度

令和 3～5 年度

令和 6～令和 8 年度

	重点目標及び課題	具体的取組み
事務局	(1) 3 か年収支計画の策定 (2) 新規事業の検討	① 毎月の会計報告会議において、稼働率、人件費、事業費・事務費の傾向を把握しながら、第 8 期 3 か年計画に収支差率（額）を定めました。 ① 埼玉県、富士見市と協議を重ねながら令和 3 年度以降の協議に向けて事業内容等の検討をしました。
管理課	(1) 人材確保 (2) 人材育成 (3) 防災に強い組織作り	① 各事業に必要な人員配置数を定め、明確な人数の職員補充を行いました。 ① 職場内研修を計画的に実施するために年度研修計画を策定しました。 ① 防災マニュアルの見直しと洪水時等の避難確保計画を策定しました。
生活課	(1) 第三者評価の検証 (2) 介護ロボットの活用	① 「質の高いケア」を継続するため、心地良い接遇、適切なケアを実践しました。 ① パートナー企業協力のもと、各フロアーに導入することができました。使用方法や使用場面の課題解決に向けて、委員会メンバーを中心に継続して取り組みます。
地域課	(1) 通所型サービス A の実施 (2) 訪問型サービス A の実施 (3) 医療・介護連携	① 総合事業 A 7 サービスを実施し、3 年間で延べ 950 人へサービスを提供しました。 ① 総合事業 A 3 サービスを実施し、3 年間で延べ 2183 人へサービスを提供しました。 ① 要介護 4、5 の方でも在宅生活を継続できるようにケアマネジメントを実施しました。病院との連携を継続して行いながら、「介護と医療の連携」研修を通じて顔の見える関係作りを実施しました。

地域支援課	(1) 第三者評価の検証 (2) 小多機の定員拡大 (3) 医療・介護連携	① 特養は第三者評価の結果から課題として食事・排泄・入浴面での見直しを行いました。特に入浴については入居者の ADL 状態に合った業務内容に変更しました。 ① 定期的に富士見市内の居宅・包括・病院を中心にサービスの紹介を行いました。結果、自法人以外からの問い合わせが増加しました。 ① 居宅支援事業所では医療機関と連携し、重度のご利用者様の受け入れを行いました。
栄養課	(1) 計測を確実に行う	① 誰が調理しても、均一かつ高品質な食事を提供できるよう、3つの計測（量・温度・時間）を確実に行いました。

令和2年度（福）ふじみ野福祉会 事業報告（案）

令和2年度、法人事務局においては、5回の理事会と4回の評議員会を開催し様々な議案を審議しました。議案の1つとして、社会情勢に沿って柔軟に規程、規則等の制定・改廃をするため、理事長等の専決事項に関する定款細則一部改正をしました。また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、第2回理事会、第1回評議員会はオンライン会議としています。新規整備事業については継続的検討を実施しました。

管理課においては、昨年度策定しました人員配置計画を課長会議において都度更新しながら職員採用をしました。また、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（介護分）を申請し、最大限の感染症対策を継続的に行いつつ必要なサービスを提供するために、ICT通信環境整備等に向けたWI-FI整備等を主に行いました。上記の新型コロナウイルス感染症予防対策（以下「感染症予防対策」）について、週に1回、衛生委員会（感染症等）を開催し、対策の徹底を図ったことから、利用者様、職員のなかで新型コロナウイルス感染症に罹患した者はおりませんでした。

生活課においては、対面での従来通りの活動（家族面会・家族来訪行事・ボランティア来訪）がほとんどできませんでしたが、オンラインや窓越しによる面会、職員による秋祭りに代わる縁日行事等を行い、利用者様に喜んでいただきました。

地域課においては、デイサービスでは3密（密閉・密集・密接）を避けるため活動エリアを拡大しながら、休業せずに通常営業を行いました。ヘルパーでは訪問時の検温やマスク着用を徹底しサービス提供を行いました。居宅・包括では緊急事態宣言中は在宅勤務を行い、埼玉県の要請に協力しました。

地域支援課においては、特養では生活課同様の面会や行事の実施、ユニットケア実施に向けて計画的に職員採用を行い、小多機では年間を通じて宿泊サービスを実施することができました。居宅・包括では地域課同様に在宅勤務を行いました。

栄養課においては、行事食の代替対応してブリの解体ショー等を楽しんでいただきました。

法人事務局、各課が実施した事業について以下のとおり報告します。

1 事務局

総合目標及び課題

- ・ 少子高齢人口減少化問題を踏まえた法人運営をします。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 新規事業の検討	① 高齢者保健福祉計画の進捗を踏まえ、継続して検討を行いました。
(2) 第8期中長期計画の策定	① 課長・管理者研修において2025年問題を踏まえながら第8期中長期計画を策定しました。
(3) 業務評価制度の見直し	① 現制度の見直しを行う準備として、リーダー研修等（在宅研修）において、職務記述書と行動基準書の一部見直し（案）を作成しました。
(4) 役員会等	① 監事監査 令和元年度の理事の職務の執行についての監査 ② 理事会 ○第1回 （書面による決議） 議案

1. (福) ふじみ野福社会就業規則一部改正 (案) について
2. (福) ふじみ野福社会パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正 (案) について

○第2回 (オンライン)

報告事項

1. 理事長の職務の執行状況について

議案

1. (福) ふじみ野福社会 令和元年度事業報告及び決算報告について
2. (福) ふじみ野福社会 理事長の専決事項に関する定款細則一部改正 (案) について
3. (福) ふじみ野福社会 就業規則一部改正 (案) について
4. (福) ふじみ野福社会 パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正 (案) について
5. 在宅勤務規程 (案) について
6. 評議員会の招集 (案) について



○第3回

報告事項

1. 理事長の職務の執行状況について
2. 介護サービス事業者に対する実地指導等の結果について(ヘルパーステーション)

議案

1. 特定介護職員等処遇改善手当月額変更 (案) について
2. 特定職員処遇改善法人単独手当月額変更 (案) について
3. (福) ふじみ野福社会給与・退職金規程一部改正 (案) について
4. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(介護分)申請計画 (案) について
5. 特別養護老人ホームむさしの駐車場拡張整備計画並びに入札 (案) について
6. 第1次補正予算書 (案) について
7. 評議員会の招集 (案) について

○第4回

議案

1. 特別養護老人ホームむさしの駐車場拡張整備計画入札結果について

	2. 評議員会の招集（案）について ○第5回 報告事項 1. 第1号訪問事業（訪問型サービスA）に係る実地指導の実地指導結果について 2. 社会福祉法人指導監査の結果について 3. 第8期3か年計画の基本的方針について 議案 1. 第2次補正予算書（案）について 2. 建物維持管理委託契約の更新（案）について 3. 紙おむつ単価契約の更新（案）について 4. 清拭布単価契約の更新（案）について 5. 介護職員処遇改善手当支給（案）について 6. 特定介護職員等処遇改善手当支給（案）について 7. 定款一部変更（案）について 8. 就業規則一部改正（案）について 9. 運営規程一部改正（案）について - むさしの（通所） ひだまり（小多機） 10. 第8期3か年計画（案）について 11. 令和3年度事業計画並びに予算書（案）について 12. 評議員会の招集（案）について ③ 評議員会 ○第1回（オンライン） 報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について 議案 1. （福）ふじみ野福祉会 令和元年度事業報告及び決算報告について ○第2回 報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について 2. 介護サービス事業者に対する実地指導等の結果について（ヘルパーステーション） 議案 1. 特定介護職員等処遇改善手当月額変更（案）について 2. 特定職員処遇改善法人単独手当月額変更（案）について
--	--

	3. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（介護分）申請計画（案）について 4. 特別養護老人ホームむさしの駐車場拡張整備計画並びに入札（案）について 5. 第1次補正予算書（案）について ○第3回 （書面による決議） 議案 1. 特別養護老人ホームむさしの駐車場拡張整備計画入札結果について ○第4回 報告事項 1. 第1号訪問事業（訪問型サービスA）に係る実地指導の実地指導結果について 1. 社会福祉法人指導監査の結果について 2. 第8期3か年計画の基本的方針について 議案 1. 第2次補正予算書（案）について 2. 建物維持管理委託契約の更新（案）について 3. 紙おむつ単価契約の更新（案）について 4. 清拭布単価契約の更新（案）について 5. 介護職員処遇改善手当支給（案）について 6. 特定介護職員等処遇改善手当支給（案）について 7. 定款一部変更（案）について 8. 第8期3か年計画（案）について 9. 令和3年度事業計画並びに予算書（案）について
--	---

2 管理課

総合目標及び課題

・人材定着及び計画的な修繕を実施します。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 人材確定着	① 早期離職防止のため、入職者と個人面談を行う事によりミスマッチを防ぎ定着に繋がりました。
(2) 適切な会計処理	① 経理規程に沿った適切な会計処理を行いました。 ② 勘定科目への補助科目追加を行い、より理解し易い帳票を作成しました。
(3) 働きやすい職場	① 快適な職場環境の保持のため、美化活動を行いました。

づくり

(4) 丁寧な清掃・洗濯

(5) 地域行事への参加

② より働きやすい職場を目指し、規則の明瞭化や必要に応じた規程の見直しを行いました。

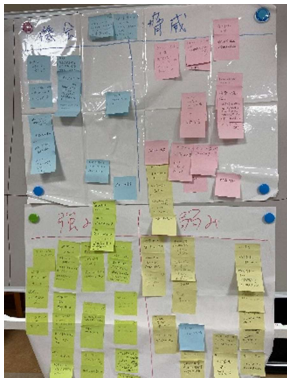
① 丁寧な洗濯、居住スペースの清掃を行いました。

① 新型コロナウイルスの影響により、参加予定でした地域行事は全て中止となり参加する事ができませんでした。

時期	行事名称	内容	主管課	管理課	生活課	地域課	地域支援課	栄養課
4月	菜の花フェスタ	中止		0	0	0	0	0
6月	環境浄化運動	中止		0	0	0	0	0
10月	富士見ふるさと祭り	中止		0	0	0	0	0
11月	水谷文化祭	中止		0	0	0	0	0

委員会

・研修委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 職員育成 (2) 階層別研修	① 年度別研修に基づき、計画的に内部研修を行いました。 ② 今年度は看護・相談・リハ・栄養・管理系職員の職種別研修を実施しました。 ① グループワークを通じ、コミュニケーションを図りながら職員間の合意形成を図ることを目的に、課長管理者研修は中長期計画（案）を作成し、リーダー研修は外部講師を招き、認知症の理解を深めました。  

職場内研修プログラム

今年度の 研修目標	① リーダー研修を通し OJT に対する共通・理解を促す ② OJT 確認表の使用を進め、意図的・計画的に OJT を実施する				
研修携帯	研修区分・対象	時期	研修内容（テーマ）	担当	評価・フォロー
OJT	1 日常の OJT	通年	日常指導の徹底	リーダー・副主任	観察評価
職務を通じての研修	2 意図的 OJT	通年	目標成果シート 職務記述書 行動基準書	リーダー・副主任	目標成果シート
	3 リーダー等による初任者及び中途採用者の指導	3 か月	① ケアの基本動作 ② チームケアとコミュニケーション		OJT 確認表
OFF - JT	4 階層別研修（課長・管理者）	6・7・8・9 月	後継人材育成と組織を維持・発展するための体制整備を行う	施設長	アンケート
職務を離れての研修	5 階層別研修（リーダー）	6・7・8・9 月	現場を統括するために必要な職員及び利用者に対する対人援助技術を学ぶ	施設長	アンケート
	6 内部研修				
	① 身体拘束廃止研修	11 月	身体拘束を廃止するための技術を学ぶ	身体拘束委員会	アンケート
	② 褥瘡予防研修（介護）	9 月	褥瘡を予防するための技術を学ぶ	地域支援課長	
	③ 感染症対策研修	4・10 月	感染症に対する基礎知識を学ぶ	栄養課長	
	④ 事故発生防止研修	6 月	事故発生を防止するための視点を学ぶ	地域課長	
	⑤ 入浴事故防止研修	随時	浴室内での事故防止の技術を学ぶ	入浴委員会	
	⑥ 高齢者の虐待防止研修	5 月	虐待防止に関する基礎知識を学ぶ	身体拘束委員会	
	7 入職者研修	入職時			
	① 施設長オリエンテーション		法人全体について学ぶ	施設長	アンケート
	② 管理課オリエンテーション		就業規則や給与規程等について学ぶ	管理課長	
	③ 接遇研修		声かけ方法や対応方法について学ぶ	担当課長・管理者	
	④ 防災研修		施設の防災設備等について学ぶ	防火管理者	
	⑤ 看護研修		介護現場での看護内容について学ぶ	副主任	
	⑥ リハ研修		移乗・移動方法について学ぶ	副主任	
	⑦ 他課研修		他課について学ぶ	担当課長	
	8 派遣研修（該当者）	通年	社協、老施協、経営協等主催研修		研修報告

SDS 自己啓発 支援制度	9 資格取得支援研修 ① 介護支援専門員		資格取得に向けて基礎知識を学ぶ	施設長 前年合格者	報告・発表
---------------------	-------------------------	--	-----------------	--------------	-------

・広報委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) HP の定期更新	① 職員ブログを都度更新し、施設内外での出来事について情報発信を行いました。
(2) 広報誌の充実	② 採用情報をリアルタイムで更新し、積極的な採用活動へつなげるよう努めました。
	① ご利用者の生活の様子を分かりやすく伝えるよう、写真を多く掲載する等工夫した広報作成を行いました。
	② 季節感を大切にした彩り豊かな広報誌作成を行いました。

・防災委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 防災に強い組織作り	① 防災マニュアルの見直しと洪水時等の避難確保計画を策定しました。
	 
(2) 訓練の実施	① 施設全体で日中帯及び夜間想定の実地訓練を行いました。

・衛生委員会

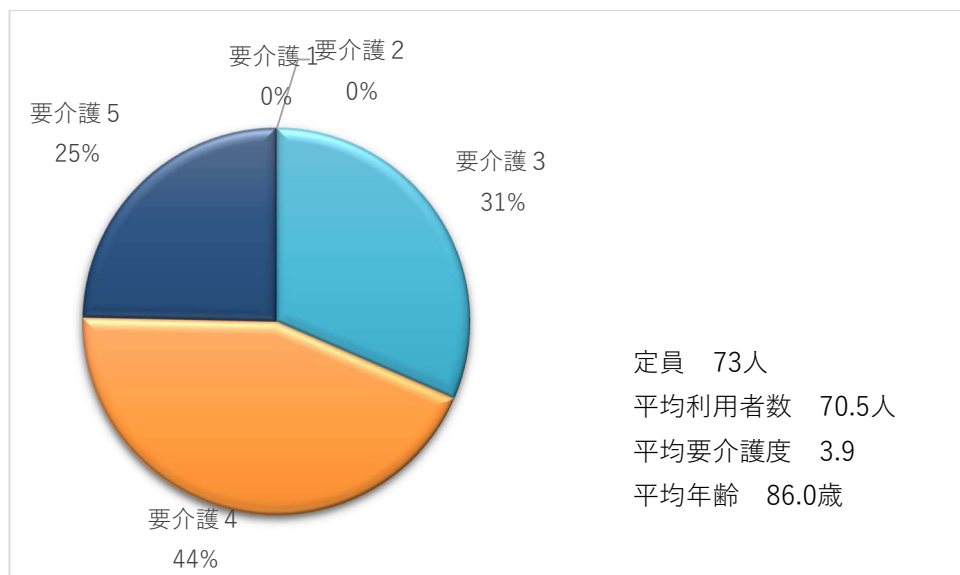
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 労働災害の防止	① 労働災害は会議内で都度確認を行い、周知を行いました。
	② 発生災害については再発防止の検討を行いました。
(2) 感染症予防対策	① 感染症についての情報収集を行い、予防対策の周知を行いました。

3 生活課

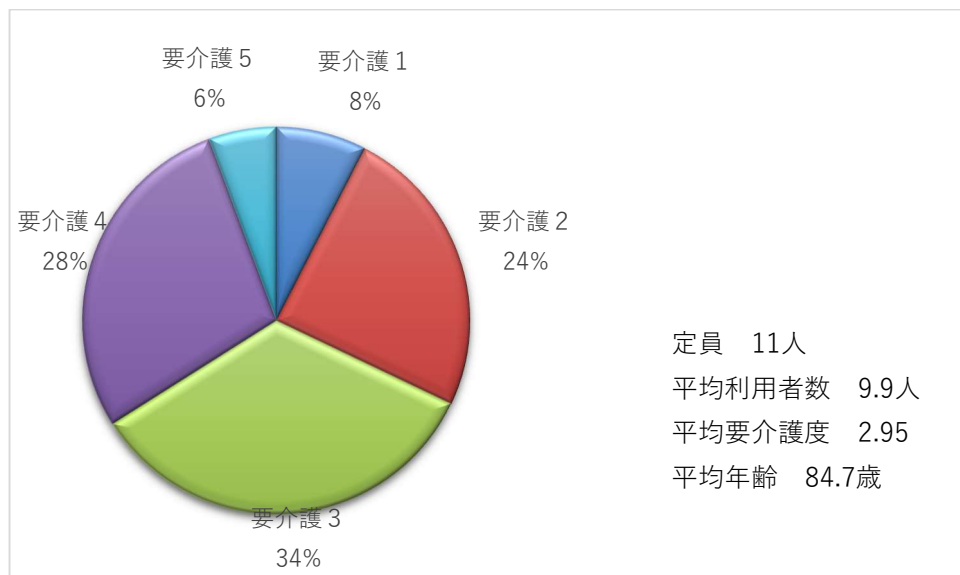
総合目標及び課題

- ・ 報連相や情報共有を大切にし、多職種協同・協力による生活支援を行います。
- ・ 丁寧な接遇で思いやりのある介護サービスを提供します。
- ・ 個別のニーズに沿った楽しみのある生活を提供します。

特養



ショート



介護

重点目標及び課題	具体的取組み		
(1) 第三者評価の検証	① 課題の「利用者への声掛け、関わり方の工夫を行い、質の高い支援を実施していく」に対しては接遇マナー研修や職員指導を通して各職員への意識付けを行いました。		
(2) 余暇活動の充実	① 利用者ニーズに応じ、塗り絵や各ユニットの装飾の作成を行っていただき、掲示しました。自身で作成した作品を掲示することにより、やりがいを感じる方もいらっしゃいました。今後も継続し、より楽しみのある生活を提供していきます。		
(3) 安全な服薬介助方法の構築	① 誤薬の事故はありませんでしたが、服薬前のダブルチェック体制に課題が残りました。 ② 服薬時にマニュアルに沿った介助を行い、マニュアル通りに実施できていない職員へはその都度指導を行いました。		
(4) 職員のスキルアップと業務改善	① 新入職員に対しては指導担当者から 1 カ月毎に業務の習熟度を確認し、アドバイスをを行いました。 ② 各フロアーに置いて疑問点や業務内で気付いたことを書面にまとめ、各フロアー会議にて検討しました。		
(5) 年間諸行事	実施月	予定行事	実施日
	4 月	お花見行事	3 月 30 日 (火) 31 日 (水)
	5 月	端午の節句	5 月 5 日 (火)
		菖蒲湯	5 月 4 日 (月)～6 日 (水)
	6 月	2 階おやつ行事 (パンケーキ、パフェ)	6 月 17 日 (水)
		3 階おやつ行事 (パンケーキ、パフェ)	6 月 21 日 (水) 24 日 (水) 28 日 (日)
	7 月	七夕行事	7 月 7 日 (火)
	8 月	2 階縁日行事	8 月 24 日 (月)
		3 階縁日行事	8 月 26 日 (水)
	9 月	長寿を祝う会	9 月 16 日 (水)
	10 月	2 階昼食行事 (お好み焼き、リンゴのコンポート、チョコレートフォンデュ、芋煮汁)	10 月 21 日 (水)
		3 階昼食行事 (お好み焼き、リンゴのコンポート、チョコレートフォンデュ、芋煮汁)	10 月 28 日 (水)
	11 月	2 階おさかな解体ショー	11 月 25 日 (水)
		3 階おさかな解体ショー	11 月 27 日 (金)
	12 月	2 階おやつ行事	12 月 7 日 (月)

		(餃子、ビール)	
		3 階おやつ行事	12 月 9 日 (水)
		もちつき行事	12 月 16 日 (水)
		冬至 (ゆず湯)	12 月 21 日 (月) ～23 日 (水)
		クリスマス (昼食行事)	12 月 24 日
	1 月	2 階新年会	1 月 16 日 (土)
		3 階新年会	1 月 14 日 (木)
	2 月	節分行事	2 月 3 日 (水)
	3 月	雛祭り行事	3 月 3 日 (水)



看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 利用者の健康管理、異常時の適切な対応	① コロナ禍の中、発熱や一般状態の把握に努め、早期に受診対応を行うことができました。入院者減少にも繋げることができました。 ② 急変時マニュアルは作成途中のため引き続き行っています。急変時の対応については看護師間で情報を共有することができました。

(2) 介護スタッフとの知識の共有	① 勉強会を行うことができたが、定期的な開催においては課題が残りました。次年度は計画的に行っていきたいと思います。
(3) 委員会・会議への参加	② カンファレンスやフロアー会議に出席し、情報共有ができるようになりました。 ① カンファレンスやフロアー会議に出席した際、医療的な立場からの意見を伝えることができた。今後はさらに理解が深まるよう、わかりやすい言葉で伝えていきます。

リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 自立度の向上	① 昨年度までは関節可動域訓練のみだったご利用者をベッドサイドにて端坐位を行う、車椅子で離床する、また、居室ベッドでリハビリを実施していたご利用者をホールまでお連れしてプラットホーム上で行う等、座る時間、離床する時間を増やすことを行いました。それにより、表情が豊かになる、関節の可動域の拡大する等に繋がりました。 ② リハビリ終了時、居室へ戻る前に他ユニットやホールを往復する、ベランダを周回する、リハビリ実施時は車椅子からプラットホームへの移乗の距離を空けて歩行を行うなど歩行する機会を作りました。その結果、施設内であれば独歩や歩行器で歩くことができるようになりました。
(2) リハビリの拡充	① 運動で関われないご利用者に、歌や 50 音トレーニング等で大きな声を出し嚔下の低下を防止する、ボール遊びで上肢の可動域や体幹の筋力を保持する、ロールピクチャーで指先を使う等を行いました。今まで関われなかったご利用者と関わりを持つことができました。

相談

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 外出ボランティアの育成	① コロナ渦にて、年間通して施設内でのボランティア活動や受入れを行えることが困難な状況でした。施設内での活動においては広報誌を随時発行し、活動内容をお知らせしています。 ② 新規ボランティア及び既存活動ボランティアに対しての保険加入は活動するにあたり受入れ困難なため、今年度の保険加入実績はありませんでした。今後はコロナ渦状況を見極めて活動依頼を実施し、双方が安心して活動できるよう保険加入を勧めていきます。 ③ ボランティア活動の受入れは行えませんでした。また従来の対面での面会も実施できない中、感染症対策を実施しながらオンライン面会及び窓越しの面会を継続して実施しています。
(2) 入院者の病状確認	① 入院者への状況確認を適宜実施しています。その中でも、毎週水曜日には、ご家族及び入院先医療機関への聞き取りや IC の依頼を積極的に実施しました。その内容を介護明細及び相談員日誌への記録も実施し、各セクションとの共有を図っています。

(3) 稼働率維持・向上に向けた取組み	② 病状確認の中、長期入院者で入院先の病院とご家族との話し合いの結果、4名の生存退所者がいました。ご家族には優先入所の件を説明し、不安感を与えないように努めました。昨年度より入院者が減少となっています。入院者は延べ28名・延べ入院日数662日。昨年度比、延べ人数22人・延べ入院日数534日間の減少となっています。1日平均入院者数も1.5人減少しています。病状によりですが1度の入院で長期化してしまう傾向にあるため引き続き、入院者の不利益にならないよう退院支援を実施します。 ① 年間特養入所稼働率96.6%となりました。昨年度比で1.8ポイント増加となるも目標到達に至りませんでした。昨年度比より増加要因として入院者及び入院日数の減少が挙げられます。また、本入所者の空床については退所者22名・空床期間214日間でした。昨年度比で8名・123日間の増加となりました。平均空床期間9.7日で、昨年度比3.2日の増加となっています。退所者増加については、入院先で亡くなられた方の増加とそれに伴う空床期間増加が要因となります。新型コロナウイルス感染症の蔓延にて入所前の確認等に時間を要してしまったことも挙げられます。引き続き、空床期間減少が課題となります。 ② 年間SS利用稼働率90.7%となっています。昨年度比で8.4ポイントの増加となっています。新規利用者は22名の受入れを実施。増加要因としては、定期利用者及び担当ケアマネに追加延長の打診を積極的に実施しています。課題は新規利用者の開拓及び定期利用となっています。居宅介護支援事業所には毎月空床情報を発行し、情報発信を積極的に行いました。今後、短期入所生活利用者への看取り介護の情報提供を実施します。 ③ 月1回の入所検討員会を実施しました。優先入所指針に沿って安定確保を実施しています。
(4) 利用者本位のケアプラン作成及び説明の実施	① 今年度はケアプランの長期目標期間を1年間、短期目標期間を半年間と定め、利用者の自立支援及び各セッション協働での作成を実施しました。 ② 各利用者のアセスメントを実施し、ケアカンファレンスを実施できるよう努めました。半年ごとの短期目標にも目を向け、軽微な変更も含めた合意に努めています。要介護認定更新時及び入院加療後の退院時のケアのニーズにも柔軟に対応し、プラン作成に努めました。

・生計困難者に対する相談支援事業

総合目標及び課題

・社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に訪問相談等を行い、必要なサービスにつなぐことをします。そして、生活保護等での既存制度では対応できない方で、経済的困窮により医療や介護サービスの利用が霜害されている場合、その費用等の全部または一部を支援する経済的援助を行います。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 担当相談員の配	① 2名の相談員を配置し、地域の生活困窮者に対する課題の解決に努めています。社

置並びに相談活動	会福祉協議会の生活困窮者担当支援員の方との支援相談やあんしんセーフティネット事業での課題解決への相談は継続的に実施しました。
(2) 経済的援助	① 援助相談後に施設長へ報告を行い、経済的支援を1件実施しております。必要とする方からの相談を重ね、相談者の自立のため、経済的及び精神的なライフバランス調整支援を実施しています。
(3) 研修会への参加	① 令和2年8月7日 彩の国あんしんセーフティネット事業 第1回ブロック会議研修（第2ブロック）に参加しています。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯の増加。 ・新型コロナウイルス感染症防止における相談支援の留意事項の報告。 ・社会貢献支援員による事例紹介。 ② 令和2年2月15日～令和3年2月26日 Webでの動画配信にて 令和2年度 彩の国あんしんセーフティネット事業 担当相談員専門研修に参加しています。彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員として、現物給付のあり方等について、他制度、他事業による支援方策について情報共有することを目的に参加しています。

委員会

・安全委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ヒヤリハットや事故削減の対策強化	① 月2回以上、同じケースでの事故又はヒヤリハットが起きた場合は、フロアー会議及び安全委員会会議にて防止対策を検討し統一化を図りました。 ② 利用者のADLの変化を察知し、今後の生活支援をケース会議やフロアー会議で検討し、事故防止に努めることができました。ADLの変化に伴い話し合いを行い、事故が軽減していきました。
(2) 事故報告の周知・徹底	① フロアー会議録及び引き継ぎ書にて防止対策の周知徹底を図り、職員間での情報共有に努めました。ヒヤリハット報告後、各セクション参加のもとカンファレンスを実施することにより、その場で対策検討や情報共有ができました。
(3) 除圧マット・離床センサーの早期見直し	① 転倒・転落防止のため、センサーマットレスの追加導入をしました。ベッドマットレスも追加導入したことにより、スキントラブルの悪化を防ぐ体制が整いました。除圧・エアマットへも移行も職員協議のもと実施することができました。

・排泄委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 身体機能に適した排泄介助の実施。	① ADL評価表に基づき、排泄形態の見直しを行いました。残存機能や自然排泄への取り組みは次年度の課題として残りました。 ② 定期的に見直すことにより、適切なパット選定と不快のない排泄支援に繋げることができました。 ③ 利用者の排泄リズムに合わせた排泄支援を行いました。生活リズムを把握し、より

(2) 自尊心や尊厳の保持。	適切な支援が提供できるように取り組んでいきます。 ① 誘導及び介助中の声掛けを意識し、居室カーテンやトイレドアの確認等、介助環境にも配慮しました。 ② 排泄時間の見直しを行うことができ、利用者の精神的負担や職員の業務負担軽減に繋げることができました。尿測を行うことで、一覧表として残すことができました。
----------------	--

・入浴委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入浴事故の防止・対策の検討と徹底	① 職員間で介助方法の確認や話し合いを行い、事故予防に努めました。 ② 他事業所での事故事例を紹介し、対処法に向けての話し合い、事故防止に向けての対策を検討しました。検討後に各職員へ周知・徹底を図りました。 ③ 職員の事故防止に対する意識を高めていくために、事故事例を踏まえた入浴研修を2か月に1度行いました。 ④ 事故防止に必要な備品の購入や破損個所の速やかな修繕を行いました。
(2) 健康状態やADLに合わせた安全な入浴支援	① 身体状況に変化があった場合は介護・看護に意見を求め、その都度、入浴形態の変更を行い、利用者・職員双方の安全を確保に努めました。

・食事委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 口腔内清潔の保持	① 洗口液使用のケアが定着できてきました。継続して口腔内の清潔保持に努めます。
(2) 口腔体操プログラムの評価	① プログラム評価の見直しに課題が残りました。内容や実施時間を再検討し、継続実施ができるように取り組んでいきます。
(3) 誤嚥予防	① 食事姿勢の保持が困難な方へのアプローチを行い、その方に合わせた食事姿勢を確立することができました。今後も安全な食事提供ができるよう、多職種協同で取り組んでいきます。

・整容委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 感染症予防	① 次亜塩素酸ナトリウム及び容器を定期的に交換し、一定濃度を保ち使用できるようにしました。また、年度の途中にて、手すりの消毒等を次亜塩素酸ナトリウム希釈液からアルコールに切り替え、継続しました。 ② 1日4回（9時、11時、13時、15時）の換気を行い、室内環境の整備に努めました。また、それ以外の時間や夜間についても適宜換気を実施しました。 ③ 1ケア1消毒の徹底に努め、各職員にアルコールボトルを配布し、フロアー会議等でも周知を行いました。
(2) 清潔な環境づくり	① 業務間での時間を使用し、居室洗面台の清潔保持に努めました。清掃職員の協力も得られたことで、より細部まで目が行き届くようになりました。 ② 居室タンス内の整理整頓については、居室担当職員を中心に年二回（5月・11月）実施しました。

(3) リネン伝票の記入方法の周知	① 伝票記入作業のマニュアルを作成し、各職員に周知徹底を行いました。
-------------------	------------------------------------

・身体拘束廃止に向けた検討委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 職員への意識付け	① 身体拘束がなぜ起こるのかを委員会で話し合いました。その結果、利用者への接遇に問題があるために起こるという結論に至り、介護現場の接遇マナーについて1月～3月の3か月を使いオンライン研修を行いました。この研修によりご利用者の対応に変化が現れることを期待しています。 ② 介護現場の接遇マナー研修により、拘束をしない言葉の使い方を学ぶことができました。
(2) ユマニチュードを実践する	① 4月～9月の半年を使い、ユマニチュードについて全職員対象にDVDの研修を行いました。その結果70%の職員が研修に参加し、ユマニチュードの技法を実践していきたいとの意見を多数聞くことができました。

・介護ロボット委員会

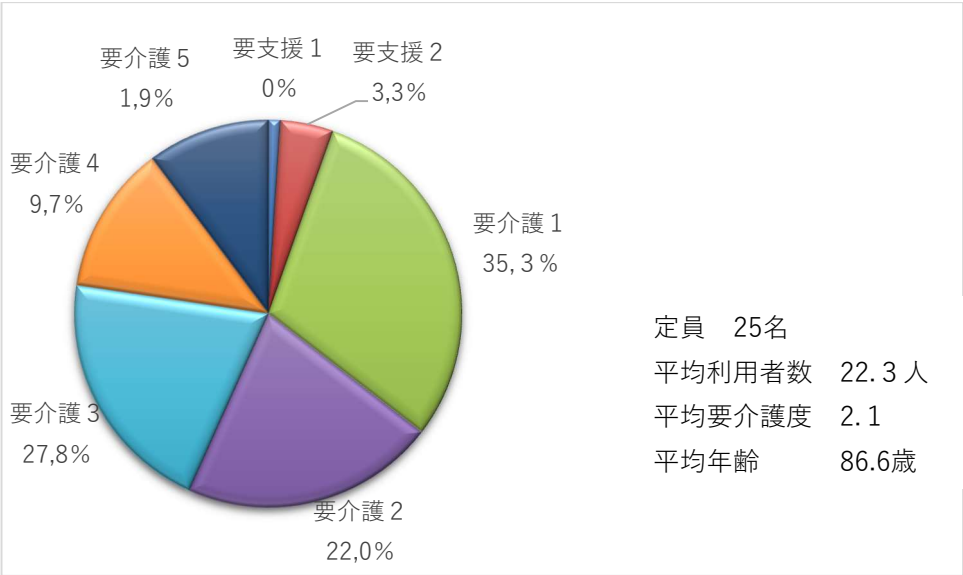
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 介護ロボットの利活用	① 活用場面や使用者が限定されてしまい、普及への難しさを感じました。一人でも多くの使用者を増やせるよう、活用によるメリットを周知していきます。 ② 使用状況を把握することはできましたが、効果検証やエビデンス採取が困難でした。使用人数を増やし、より詳細なデータ取りをしていきます。 ③ 講習の継続開催に課題が残りました。計画的スケジュールに沿って次年度は実施していきます。

4 地域課

総合目標及び課題

・各事業のサービスを利用することにより、本人の生きがいやご家族の介護負担軽減、医療ニーズがあっても在宅生活の継続が出来るように地域ニーズとして必要とされる役割を果たします。

デイサービスセンター



重点目標及び課題	具体的取組み												
(1) 介護	① 職員個々の心情、生活状況を考慮しつつ、チームワークに努めました。 ② 自立を促した声掛けを行い、職員間で申し送りを徹底し、個別での対応を実施しました。 ③ 感染予防に注意しながらアクティビティー活動を定期的の行い、利用者やご家族から、高い評価を頂きました。 ④ ヒヤリハット報告を踏まえ、同じような事故が起きないように朝礼等を利用し、情報共有しました。感染予防として時間を決めた換気、消毒を継続的に行いました。 <年間行事計画> <table><tr><th>日程</th><th>行事内容</th></tr><tr><td>4月</td><td>調理レク（たい焼き） 4/9 4/11 4/14 4/17 4/20 4/22</td></tr><tr><td>5月</td><td>演芸大会 5/22 5/28 5/30</td></tr><tr><td>6月</td><td>調理（牛乳寒天 切り干し大根） 6/16 6/17 6/18 6/20</td></tr><tr><td>7月</td><td>かき氷 7/21 7/22 7/23 7/25</td></tr><tr><td>8月</td><td>ビアガーデン</td></tr></table>	日程	行事内容	4月	調理レク（たい焼き） 4/9 4/11 4/14 4/17 4/20 4/22	5月	演芸大会 5/22 5/28 5/30	6月	調理（牛乳寒天 切り干し大根） 6/16 6/17 6/18 6/20	7月	かき氷 7/21 7/22 7/23 7/25	8月	ビアガーデン
日程	行事内容												
4月	調理レク（たい焼き） 4/9 4/11 4/14 4/17 4/20 4/22												
5月	演芸大会 5/22 5/28 5/30												
6月	調理（牛乳寒天 切り干し大根） 6/16 6/17 6/18 6/20												
7月	かき氷 7/21 7/22 7/23 7/25												
8月	ビアガーデン												

		8/19 8/20 8/21 8/22	
	9 月	長寿を祝う会 9/16～9/19	
	1 0 月	秋祭り 10/14～10/17 10/19	
	1 1 月	焼き芋 11/12 11/13 11/14	
	1 2 月	クリスマス行事 12/24 12/25 餅つき行事 12/16	
	1 月	鍋行事 1/20 1/21	
	2 月	節分行事 2/2 2/3	
	3 月	調理レク（カレー、バーベキュー） 3/19 運動会 3/22～3/25 桜花見 3/26～3/31	

(2) 医務	① 毎日のバイタルチェックに合わせ、送迎時に検温を徹底することでより早く体調不良者の対応をすることが出来ました。
	② 体調不良者、急変者が出た時には相談員、管理者と連携して対応しました。
(3) リハビリ	① 個別機能訓練計画に基づいた生活リハビリを行い、筋力の維持、向上を目指して実施しました。結果、状態が向上し、意欲をもって利用される方が増えました。
	② バーズルインデックスを使い利用者の状態を評価し、個々の残存機能が明確になり、支援にあたる事が出来ました。
(4) 運転	① 安全運転を心がけ、利用者が安心出来るような運転を心がけ大きな事故がなく対応できました。
	② 車両の点検、清掃、シートベルトの着用を行い、1 年を通して安全に配慮した運転が出来ました。
	③ 送迎時にご家族からの引継ぎ等を職員へ確実に伝達することでミスなく行えました。
(5) 相談	① 稼働日のバランスを考え利用人数が安定するように努めました。
	② 家族、ケアマネへのきめ細かい連絡・報告をタイムリーに行い、信頼のおける関係

(6) 通所型サービス A の実施 (7) 稼働率維持・向上に向けた取り組み	づくりを目指しました。 ③ 身体的及び精神的な状態を勘案して通所介護計画・介護予防通所計画を策定し、能力に応じた自立支援が営まれるような対応を行えました。 ① 1年通して実施してきた総合事業の成熟と自立に向けた対応に努め、「出来る事はご自身で」を念頭に取り組んで頂けました。 ① 上記取り組みを実施し稼働率の 87.7% となり、目標の稼働率を達成することが出来ました。
--	---



<桜花見>

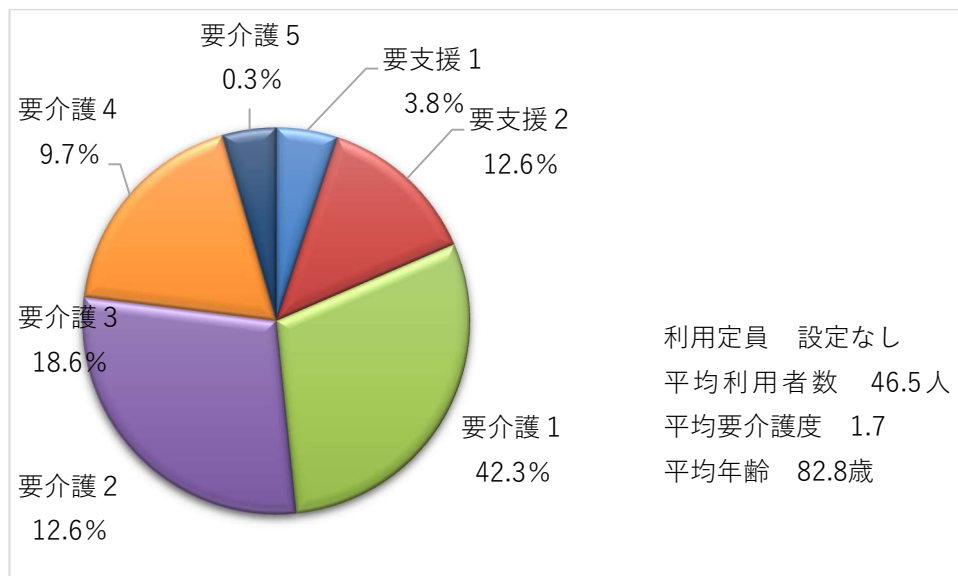


<鍋行事>



<運動会行事>

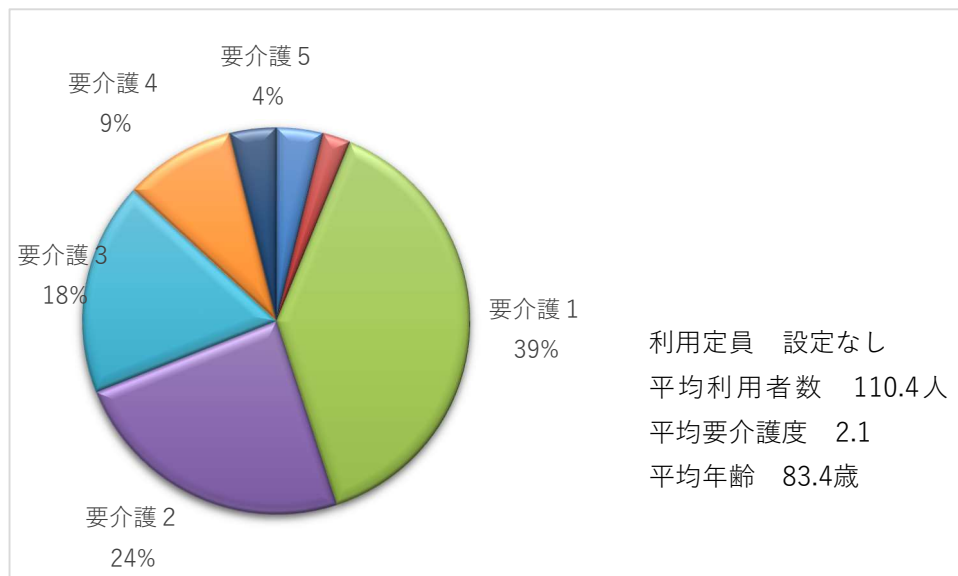
ヘルパーステーション



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 個別サービスの向上	① 訪問前後に職員間で情報を共有し、サービス内容の変更等、柔軟に対応をしました。 ② 訪問介護計画書に沿ったサービス提供を行い、過剰なサービス提供にならないように努めました。

(2) 利用者との信頼関係の構築	③ サービス提供時に気づいた点を事業所内で周知し、ケアマネへの連絡も随時行いました。結果、サービス内容の確認、問題点等の共通認識を持ちサービス提供に努める事ができました。 ① 接遇マニュアルを確認し、職員それぞれが意識をもってサービス提供を実施しました。 ② 利用者・家族からの相談についてケアマネに速やかに報告し迅速に対応していただきました。 ③ 利用者様宅の備品を大切に使用することを意識して対応しました。 ④ 誕生日には個別にプレゼント（手づくり）を作り、利用者へ渡しました。
(3) リスクマネジメント	① 緊急時の対応・手順を把握した上で連絡等の迅速な判断をして対応しました。 ② サービス提供責任者と随時、連絡を取れるように携帯端末を使用しました。
(4) 訪問型サービスAの実施	① ケアプランに沿った自立支援を意識し、自立を妨げないよう見極めて対応しました。
(5) 訪問数維持・向上に向けた取り組み	① 月平均 370 回の訪問を目指しましたが、年間通して月平均 322 回となり目標に届きませんでした。

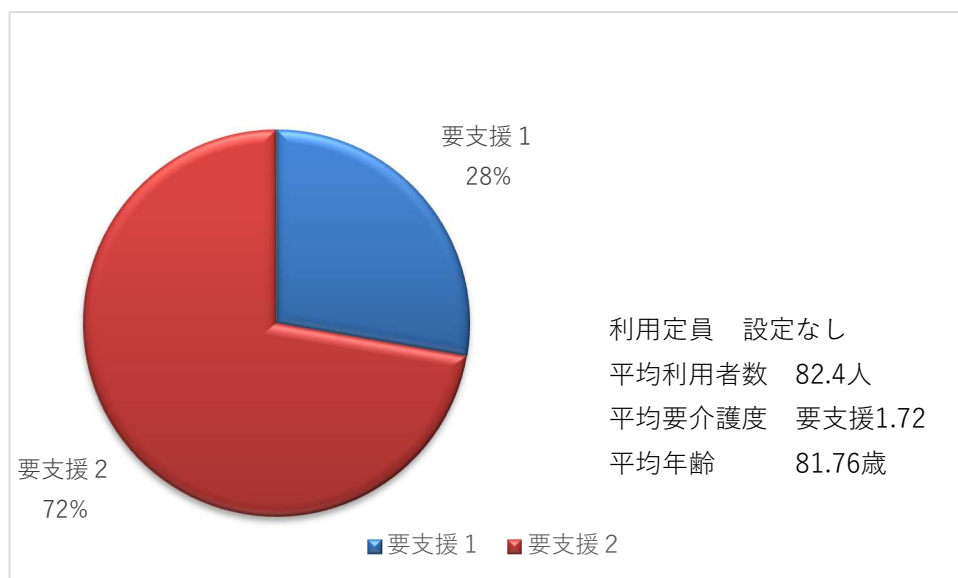
居宅介護支援事業



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ケアマネジメントの標準化	① 事業所内で業務内容アンケートを実施し、それぞれの業務が可視化できるように取り組みましたがケアプランチェックとしては不十分でした。 ② 毎月、会議を開催し、情報共有等の場としました。コロナ禍の影響で外部研修は中止が多かったですが、年度末にオンラインでの研修参加を積極的に行いました。 ③ 配食サービスやふれあい収集等、地域サービスを活用したケアプランを立案しましたが、より幅広い活用が必要だと感じました。

(2) 医療・介護連携	① 主治医との連絡は「医療と介護の連携シート」を活用し、積極的に行うことが出来ました。 ② 利用者が入院した場合には情報共有として「入院時情報提供書」を作成し、入院先と連携しました。(入院時情報連携加算Ⅰを 14 件、入院時情報連携加算Ⅱを 11 件算定)
(3) プラン作成率維持・向上に向けた取組み	① 年間のケアプラン作成率(要介護と要支援の平均)は 87.6%(前年度より-2.5 ポイント)となり、目標を達成することができませんでした。 ② 年間要介護プランの請求合計は 1325 件となり、前年度より 36 件増加となりました。また、新規 50 件の受入れを実施し、前年度より 8 件の増加となりました。

地域包括支援センター



重点目標及び課題	具体的取組み		
(1) 総合的な相談支援	毎年、町会、高齢者ふれあいサロン、社会福祉協議会から依頼されていた出前講座、介護予防講座等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。地域で安全に取り組んでいける内容を模索する必要があります。		
	出前講座、 介護予防講座	中止	4 月 ふれあいサロンひろば 5 月 勝瀬地区社会福祉協議会総会 6 月 勝瀬地区社協生活部会 7 月 サロンはるな 8 月 渡戸喜楽会 9 月 渡戸東敬老会 10 月 渡戸第 3 サロン ふじみ野ふれあいサロン 11 月 渡戸第 2 サロン 12 月 羽沢 1 丁目サロン

	出前相談会	中止	3月 南畑ふるさとまつり ふじみ野交流センター 南畑公民館
	健康講座	中止	南畑第1～5町会

・地域のさまざまな関係者と連携、見守り体制の構築、地域ネットワーク拡充に努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、十分に取組むことができませんでした。
今後、少人数での開催やオンラインの活用などの工夫をしていく必要があります。

高齢者見守りネットワーク	11/13 3/30	11件 1件
民生委員との情報交換会	中止 中止 11/12	勝瀬地区民生委員協議会 水谷・南畑地区民生委員協議会 羽沢1丁目民生委員
運営推進会議	11/25(書面開催) 10/19	D S 南畑 デイサービス凜

(2) 権利擁護、虐待の早期発見の・防止

① 高齢者虐待の防止・支援

虐待通報対象者に対し、2名体制で訪問し、現状を確認し、ケアマネジャー、市の担当者等と対応策の検討を行いました。

② 消費者被害等の防止・支援

出前講座等の開催ができなかったため、高齢者あんしん相談センター便りを通じて啓発活動に努めました。

③ 成年後見制度等の利用支援

成年後見制度利用対象者が、一人暮らしを継続できるよう関連機関と連携し、サービスが整うまで支援を行いました。

(3) ケアマネジャーへの支援

① 介護支援専門員の個別の相談を、専門的見地から助言、対応し、ケアマネジメント向上や困難事例に対する後方支援を行いました。

② ケアマネサロン、ケアマネ研修会の開催

ケアマネ研修会	2/19 (ZOOM)	富士見市体育館 5圏域合同開催
ケアマネサロン「クラージュ」	偶数月第3金曜 中止	5圏域輪番
富士見地区 ケアマネ連絡会	中止	随時出席

(4) 介護予防ケアマネジメント

① コロナ禍の中で、実態把握訪問を控え、総合相談も減る状況が続きました。フレイルが進み、精神疾患や認知症の進行などを心配する声が聞かれ、今後、何らかの支

ス感染拡大のため、十分に取り組むことができませんでした。新たにオレンジダイヤルや富士見市もの忘れあんしんガイドの作成に 5 包括で取り組みました。

項目	開催月	場所・対象
認知症サポーター講座	9/26	ふじみ野交流センター
認知症サポーター フォローアップ講座	中止	市との連携協議
オレンジダイヤル(認知症相談)	9/17.18(1 件) 3/11.12(0 件)	5 包括認知症地域支援推進員
「オレンジカフェ南畑いこいば」 「オレンジカフェ渡戸 3」	11/25(9 名) 1/27(1 名) 偶数月年 6 回 中止	南畑公民館 渡戸 3 丁目集会所
認知症地域支援推進員会議	6/17、7/15、8/19、 9/16、10/21、11/18、 1/21、2/17、3/18	市、5 包括の認知症地域支援推進員
世界アルツハイマーデー活動	中止	市、5 包括の認知症地域支援推進員等 中

③ 生活支援体制整備事業

新型コロナ感染拡大で、事業の話し合いが中断しました。令和 3 年度も、地域住民主体の地域づくりの体制作りのため、市や社会福祉協議会と協力を図っていきます。

④ 介護者教室実施・介護者サロンへの支援

介護者教室は、介護に関することだけでなく、新型コロナ感染時の対策、介護者自身の健康や栄養管理、フレイル予防等についての講座を開催しました。介護者サロンは、新型コロナ感染拡大予防のため、開催できませんでしたが、介護者教室に参加していただきました。

項目	開催月	場所・対象
介護者教室	11/20 3/31(※ 2 月開催を延期)	「コロナ禍だけど…笑顔でいつもの生活を送るために」～自分を守り、人を守ろう!!～ ふじみ野交流センター 「フレイル予防で誰もが元気なまちづくり」～いつまでも生き生きと元気に過ごすために～ 南畑公民館
介護者サロン「窓陽」	開催されず	ふじみ野交流センター 中止

⑤ 個人情報の保護

	他機関への情報提供や会議等での、個人情報の取扱、管理に留意しました。 ⑥ 地域行事への参加・協力等 新型コロナ感染拡大に伴い、中止された行事が多い中、環境美化活動、地域防災(ZOOM)に参加することができました。
--	---



〈介護者教室①〉



〈介護者教室②〉 ガウンテクニック



〈ケアマネジャー研修(ZOOM)〉



〈オレンジカフェいこいば 感染対策と ZOOM 体験〉



〈むさしの便りの作成と配布〉

配食サービス

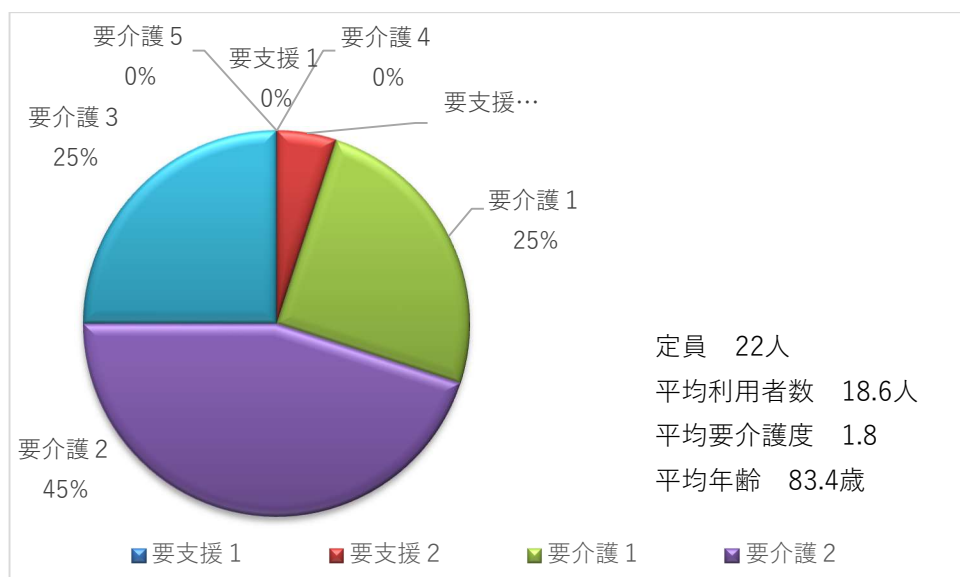
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 在宅生活を支える	① 地域での在宅生活の支えになるように事業を継続。年間の実績は昼食 3 5 4 食（前年度より 54 食減）、夕食 1404 食（前年度より 430 食減）の提供をしました。
(2) 配食事業の周知	② 法人内の在宅部門を中心に地域への周知活動を継続しました。

5 地域支援課

総合目標及び課題

- ・業務の見直しを行い効率的に働ける環境を整えます。
- ・施設設備の故障に対して早めの対応を行います。
- ・在宅から入所まで事業間で連携を取りながら継続して支援していきます。

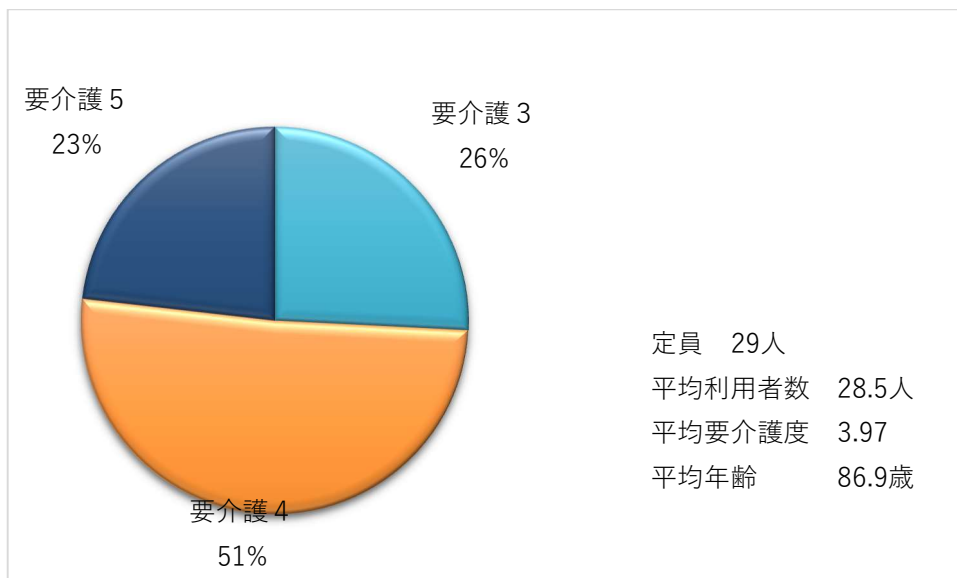
小規模多機能型居宅介護



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 通い	① ご利用者の希望を聞きながら、毎月誕生日会や食事レクなど個別支援を意識した通いサービスを実施しました。
(2) 訪問	① ご利用者毎に担当を決め訪問サービス手順書を作成し統一ケアを実施しました。
(3) 宿泊	① 臨時の宿泊サービス利用に対応できるよう夜勤シフトを作成し臨時希望への対応は実施できましたが、夜勤者と夜勤者が抜けた際の日勤帯の職員が不足し毎日夜勤は組めない状況がありました。
(4) その他	① 行方不明や緊急要請が多い方の個別の対応方法を決めた対応しました。 ② 月1度のモニタリングや日常会話などからご利用者の「～したい」という希望を聞き出しレクやサービス調整に反映出来ました。
(5) 稼働率維持・向上に向けた取組み	① 年間を通じて月平均 18.6 名の登録人数のため、定員を 22 名にすることはできませんでした。 ② 夜勤者が少なく単発の希望には対応できても連日や毎日の希望には対応が厳しい状況でした。 ③ 稼働率は 82.8% となり、目標稼働率を上回ることではできませんでした。



地域密着型特別養護老人ホーム



介護

重点目標及び課題	具体的取組み		
(1) 第 三 者 評 価 の 検証	① 第三者評価の結果の分析から課題抽出を行いました。課題について年度内の各事業計画に盛り込み改善のために取り組みました。		
(2) ユニットケア	① 職員間においてユニットケアについての共通認識を図るための機会を設けることはできませんでした。新入職の方に対して、ユニットケアに向けて取り組んでいる業務内容の説明に留まりました。都度、新入職の方への対応はできています。 ② 目標としていた常勤職員数10名に到達することができました。 引き続き、採用した職員の方々の定着を目指し、OJT 指導方法などの見直しに取り組んでいます。		
(3) 年間の催し	① 新型コロナウイルスの影響によりご家族参加の行事は中止となりました。 感染症対策として外出制限のあるなか、施設内で楽しめる企画を立案しました。		
	実施月	実施予定	実施内容
	4 月	お花見	コロナのため未実施

		5月	菖蒲湯	5月4日～6日
			ホームパーティー(家族参加)	コロナのため未実施
			ユニット行事	5/25(月) すいせん 昼食：たこ焼き作り
		6月	ユニット行事	6/21(日) こすもす おやつ：パフェ作り 6/24(水) こすもす 昼食：エビピラフ・ハンバーグ コンソメスープ・プリン トマトのドレッシング和え
		7月	流しそうめん・かき氷	7/6(月) すいせん 7/11(土) こすもす 7/22(水) ひまわり
			地区夏まつり	開催なし
			ユニット行事	7/17(金) こすもす 昼食：焼きそば・フランクフルト ミニお好み焼き or たこ焼き チョコバナナ・ジュース 7/27(月) ひまわり おやつ：クレープ作り
		8月	花火	コロナのため地域の方を呼んでの 実施なし 8/25(火) 夏まつり 例年の花火中止に伴い開催 焼きそば・お好み焼き・焼き鳥 フランクフルトきゅうりの浅漬け すいか割り
			ユニット行事	8/26(水) こすもす おやつ：サーティーワンアイス
		9月	地区敬老会	開催なし
			ユニット行事	9/12(土) すいせん おやつ：プリンアラモード作り 9/27(日) こすもす

			昼食：サンドウィッチ・スープ 果物いっぱいパンケーキ
	10月	ユニット行事	10/2（木）こすもす おやつ：ハロウィン仕様 プチケーキ／デコレーション 10/25（日）ひまわり サーティーワンアイス提供 10/27（火）栄養課のおやつ行事 プリン〜かぼちゃクリーム乗せ〜
	11月	地域防災訓練	11月17日
		水谷文化祭	開催なし
		ユニット行事	11/1（日）こすもす お散歩行事（施設裏の公園） 暖かい飲み物・お菓子持参 11/5（木）すいせん おやつ：ふかし芋提供 11/19（木）こすもす おやつ：秋の果物3種 チョコレートフォンデュ
	12月	冬至（ゆず湯）	12月21日〜23日
		餅つき（家族参加）	12/15（火）家族参加なしで実施 餅3種（あんこ・きな粉・からみ） 豚汁・甘酒
		クリスマス会	12/25（金）クリームソーダ提供
	1月	新年会（家族参加）	1/14（木）家族参加なしで実施 江戸前ちらし寿司・大根煮なます 玉子豆腐のお吸い物・じゃがいもの 和風サラダ・水まんじゅう風ゼリー 出し物（獅子舞・詩吟）
	2月	節分	2/3（水）今回は落花生使用
		ユニット行事	2/15（月）こすもす おやつ：バレンタイン仕様 ロールケーキ・いちご・生クリーム

			2/22（月）すいせん おやつ：プチパフェ作り
	3月	ひなまつり	3/3（水）ひし餅に見立てた 三食ホットケーキ提供
※お誕生日祝いの実施 お誕生日当日に本人の希望に寄り添い、個別に対応しました。			



看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入居者の健康管理	① 介護職との情報交換により異常の早期発見と適切なケア、必要時に受診へと繋がられました。
(2) 嘱託医との関係強化・継続	① 嘱託医・連携病院の柔軟な対応により適切な医療面でのケアに繋げることができました。
(3) ご家族との関係づくり	① コロナウイルス感染対策により直接的な面会が制限される中、可能な限りご家族との関係を構築できるように努めました。

リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 週1回のリハビリ	① 週2回集団でのリハビリを実施しました。体操や歌を使ったリハビリを実施し、楽しみながらリハビリを行える内容を提供しました。

相談

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入院者の病状確認	① 今年は新型コロナウイルスにより入院者の面会はできませんでしたが、病院の看護師や相談員に病状確認を行い、速やかに退院支援を行うことができました。
(2) 稼働率維持・向上に向けた取組み	① 体調不良の方の受診を速やかに行うことで、入院まで至らず稼働率の向上を図ることが出来ました。結果、年間稼働率 98.7%となり目標稼働を上回ることができました。

(3)社会資源の活用	た。
	② 今年度は延べ人数 3 名・延べ日数 54 日の空床ショートステイの受け入れを実施しました。
	③ 居宅のケアマネジャーや包括の職員に入所申し込みの案内や積極的に入所相談を受けることで、入所申し込みに繋げることができました。
	① 今年度は新型コロナウイルスにより新規ボランティアの受け入れを行うことができませんでした。その中、施設の外の草むしり等のボランティア活動を行って頂くことができました。

委員会

・サービス向上委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1)入浴について	① 入浴設備の点検をし、入浴に関する事項の検討を行いました。
	② 入居者の安全、安心のある入浴方法を見つけ職員と話し合い実施しました。
	③ 入浴事故防止研修を感染症対策の為、個別で実施しました。
(2)食事について	① 食事についての提案、検食簿の管理等含め、栄養士と食事についての考案の実施をしました。
	② 食事形態について職員間で話し合いの場を持てずリーダー任せになってしまいましたが、変更後の周知徹底に努め、入居者に合わせた食事形態にて食事を提供することができました。

・衛生委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 感染症対策	① 嘔吐処理方法を医務と確認しました。新人職員への研修については実施することができず次年度の課題としています。
	② 感染症発生件数 0 件で終わることができました。
(2) 情報提供	① 新型コロナウイルスの対策を職員全体で考えてきました。新しい情報が出てくる中でその都度職員への周知を行いました。

・事故発生防止委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 身体ケア、変化に 気付き対応する	① 表皮剥離・アザ等の職員の介助による怪我について発生しやすい入居者や部位を調べ、再発防止のための対策を実施しました。
(2) 情報共有	② 情報共有を行い、事故発生リスクの高い方についての対応を検討できました。また、対応策について職員間での共有を行いました。

・整容委員会

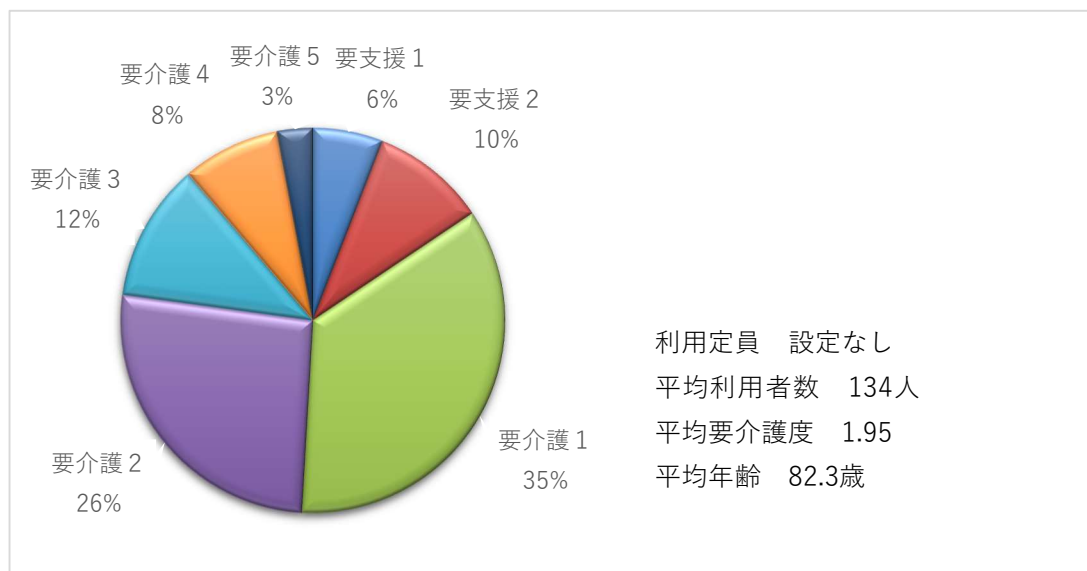
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 備品管理	① 管理課と協力し欠品がないように在庫確認と早めの注文を行いました。
	② 物品ごとの使用量・発注頻度を調べ、一覧表にして管理しました。
(2) リネン交換	① リネン類の在庫を管理し、過不足のないよう調整を行いました。

	② 年1回の厚掛け・薄掛けの交換を行い、季節に合わせた入れ替えを行いました。
--	--

・排泄委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 排泄介助の技術向上	① 排泄介助の技術向上に向けて、他職員のパットの当て方・排泄介助の方法について数名の職員とは話し合い、見る場を設け、個々に技術の向上に役立てることができました。しかし全員で見る機会を作ることはできなかったため、今後につなげて技術の向上に役立てていきます。 ② 新入職員をはじめ他の介護職員も、白十字アドバイザーの研修に参加できる機会を作ることができました。新入職員は基本のパット・紙オムツの当て方について習得することができ、参加した職員については基本を再確認することができました。基本を踏まえ入居者一人ひとりに合ったパット・紙オムツの当て方については、再度周知していき、職員個々の技術向上を目指すという課題が残っています。
(2) 排便コントロール	① 排便コントロールのアイテムとしてサンファイバーを使用しましたが、全員の自然排便を促すことはできませんでした。しかし効果のある入居者の方は数名おり、一時的な効果は得ることができました。 次年度はサンファイバーの代替品とし、別の食品等を試行していきます。 ② 便失禁が多くなる入居者の方が数名おりました。しかし便失禁の回数を減らすための努力は医務と連携し、こまめに話し合うことで減少させることができました。
(3) 陰洗について	① 白十字推奨の陰洗方法で介助に入れるよう実践しました。 ② 褥瘡の発生が2件ありましたが、その他の入居者は大きな皮膚トラブルもなく清潔を保つことができました。

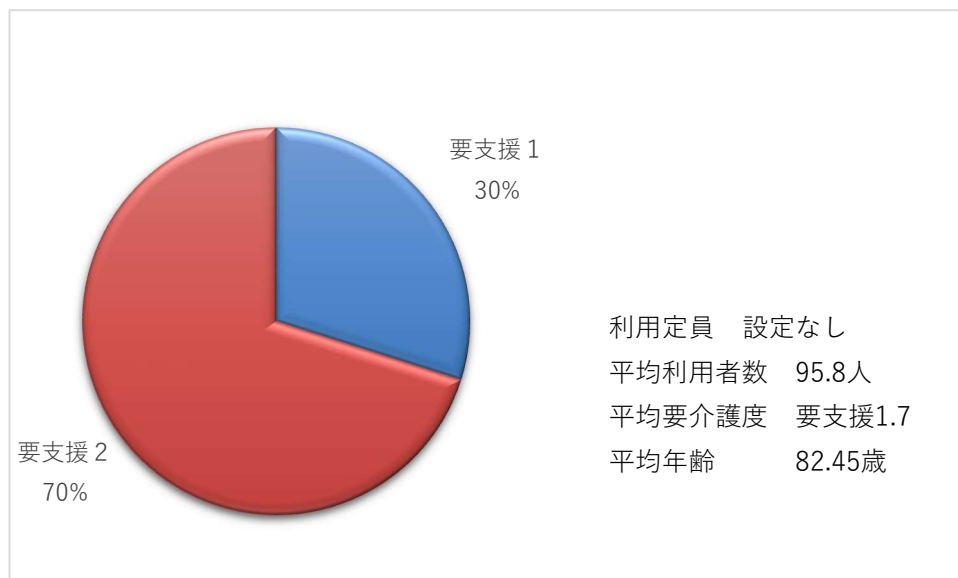
居宅介護支援事業



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) スタッフの質の	① オンラインでのケアマネ連絡会や研修会への参加により、専門的な知識と技術の習

向上	得が出来ました。 ② 新型コロナウイルス感染症予防を行いながら事業所全体の取り組み方を協議し、介護保険制度、諸制度利用に関する連絡調整をしました。 ③ 地域ケア会議や個別会議、支援会議での事例検討を通じて基礎の振り返りから困難ケースへの対応など学び支援に活かしました。
(2) 医療・介護連携	① 電話やオンライン会議を利用し情報共有を行いました。 ② 在宅看取りの方、医療依存度の高い方の退院支援を迅速に対応しました。 ③ 入退院時は病院と連携を図り在宅生活再開にむけて情報共有に努めました。
(3) 作成率維持・向上に向けた取り組み	① 上記取り組みを実施し年間平均プラン作成稼働率 91.7%とし、目標稼働率を達成しました。

地域包括支援センター



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合的な相談支援	① 高齢者の方々が住み慣れた地域で自分らしくできるよう、地域の身近な相談窓口として機能できるように努めました。
(2) 権利擁護、虐待の早期発見の・防止	① 高齢者の権利擁護についてすみやかに対応します。また権利の侵害がおきないよう周知活動を実施しました。
(3) ケアマネジャーへの支援	① 市内の地域包括支援センターと協力し、ケアマネジャー向けの研修会を実施しました。 ② ケアマネジャーからの相談に対し、解決につながるまで寄り添い支援しました。
(4) 介護予防ケアマネジメント	① 自立支援と介護予防の観点から、在宅生活を支援していけるように介護予防ケアマネジメントを適切に行いました。 ② 上記取り組みを実施し、月平均で 50 件の自プラン作成を目標に取り組みました。今年度の平均件数 28.6 件でした。
(5) 医療・介護連携	① 中重度の要介護者や医療ニーズの高い要支援者等が在宅で生活できるよう、医療・

(6) その他	介護連携を強化します。医師会主催の研修が今年度 2 回開催され参加しました。 ① 地域ケア会議 利用者の自立支援に資するケアマネジメントが適切に実施できるよう、介護予防支援地域ケア会議に 2 回開催され 5 件のケースを提出し参加、地域ケア個別会議は 3 回開催し 6 件のケースについて検討しました。 コロナウイルスへの感染拡大防止に伴う措置により圏域会議は 1 回だけの開催となりました。 ② 認知症地域支援 認知症を患っても安心して慣れ親しんだ地域で生活できるよう支援するとともに、地域での理解を促すための啓発活動を行いました。 認知症地域支援推進員の事業として 12 回の会議に参加しました。 ③ 生活支援体制整備事業 市や社会福祉協議会と協力し、地域の活動を見守り補助しました。 ④ 介護者教室・介護者サロンへの支援 介護者教室を開催し介護者や介護に関心のある地域の方が、介護への理解を深め、介護負担の軽減につながるように支援しました。水谷地区、水谷東地区で合計 2 回開催しました 介護者サロンつばやきカフェへの運営について今後の活動について協議し、今後は別の形での活動を選択することになりました。 ⑤ 地域行事への参加・協力 地域包括支援センターとして地域のネットワークに積極的に参加していくとともに、法人職員として地域に根差した施設であるための活動に協力しました。
----------------	--

6 栄養課

総合目標及び課題

・安心安全、美味しい食事の提供

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 計測を確実に行う	① 個々のスキルアップを図り、より美味しい食事を提供できるよう3つの計測（量・温度・時間）を確実にを行い、記録をおこないました。
(2) 施設に係わる人々を豊かにする食事の提供	① 年間行事計画に沿って行事食を提供しました。また、寿司やお弁当などのイベント食を提供し、利用者が楽しみ、豊かな食生活を送れるよう支援しました。 ② 地域と共に歩んでいけるよう、食を通して地域行事に参加を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、イベントが軒並み中止となってしまいました。地域行事が再開した際には積極的に参加します。
(3) 利用者の健康管理	① 年4回栄養ケアマネジメントを行い、利用者の栄養状態を良好に保てるよう、多職種協同で食事提供の見直し、栄養管理をおこないました。

